活動指針

県民のために、県民とともに
安全・安心なやまなしをめざして

重点目標

- 犯罪抑止総合対策の推進
- 悪質・重要犯罪の徹底検挙
- 交通死亡事故抑止総合対策の推進
- 災害・テロ等緊急事態対策の推進
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進
- 暴力団等組織犯罪総合対策の推進
- 社会の変化に適応する警察活動基盤の整備

山梨県警察本部

〒400-8586 甲府市丸の内一丁目6番1号
TEL 055−221−0110

警察本部庁舎

構造　鉄骨造　地下1階柱頭免震構造
階数　地下2階、地上9階、屋上ヘリポート
　　防災行政無線鉄塔等

地下2階…駐車場
2階…受付、警察総合相談室
　　交通反則通告センター
　　警察展示コーナー（POLICEふじ君ひろば）
5〜7階…執務室等
8階…通信指令課、交通管制センター
9階…見学スペース

山梨県警察組織図

令和4年　4月1日

- 公安委員会
- 警察本部
  - 総務室
    - 総務課
      - 公安委員会補佐室
      - 被疑者取調べ監督室
      - 県民広報相談センター
    - 会計課
      - 施設整備室
      - 監査室
  - 警務部
    - 警務課
      - 企画室
      - 犯罪被害者支援室
    - 教養課
    - 監察課
      - 留置管理室
    - 厚生課
      - 健康管理室
    - 情報管理課
      - 照会センター
  - 生活安全部
    - 生活安全企画課
      - 許認可管理室
    - 地域課
      - 地域指導室
      - 鉄道警察隊
      - 山岳警備安全対策隊
    - 少年・女性安全対策課
      - 少年サポートセンター
    - 生活安全捜査課
      - サイバー犯罪対策室
    - 通信指令課
  - 刑事部
    - 刑事企画課
      - 犯罪捜査指導支援室
    - 捜査第一課
      - 検視指導室
    - 捜査第二課
    - 組織犯罪対策課
      - 組織犯罪捜査室
    - 鑑識課
    - 科学捜査研究所
    - 機動捜査隊
  - 交通部
    - 交通企画課
      - 交通捜査室
    - 交通指導課
      - 交通反則通告センター
    - 交通規制課
      - 交通管制センター
    - 運転免許課
    - 交通機動隊
    - 高速道路交通警察隊
  - 警備部
    - 警備第一課
      - 外事・国際テロリズム対策室
    - 警備第二課
      - 危機管理室
    - 機動隊
      - 航空隊
  - 警察学校
- 甲府警察署
- 南甲府警察署
- 南アルプス警察署
- 甲斐警察署
- 北杜警察署
- 鰍沢警察署
- 南部警察署
- 笛吹警察署
- 日下部警察署
- 富士吉田警察署
- 大月警察署
- 上野原警察署
- 関東管区警察局
- 山梨県情報通信部
  - 通信庶務課
  - 機動通信課
  - 通信施設課
  - 情報技術解析課

生活安全部

犯罪抑止に向けた取組の推進

県警察では、管内の犯罪情勢や地域住民の要望等を的確に把握し、実態に即した警察活動を展開するとともに、自治体、学校、自主防犯ボランティア団体等と適切な役割分担の下に連携を強化し、情報共有や見守り活動等の防犯活動を効果的に実施するなど、県民生活の安全確保に向け、社会の変化に適応した総合的な犯罪抑止対策を推進しています。

山梨県警察犯罪抑止総合対策統一スローガン

みんなで築こう　安全・安心　やまなしけん

防犯ボランティア団体による見守り活動

青色防犯パトロールカーとの合同パトロール

「ながら見守り活動」への協力を呼びかけています。散歩をしながら、買い物をしながら、花の水やりをしながらなど、日常生活をし「ながら」地域や子供達を見守る自主的な活動です。
防犯には、地域の目が非常に重要になります。「ながら見守り活動」で地域の目を増やしましょう。

サイバーセキュリティ対策の推進

近年、スマートフォンやタブレット端末等の普及に加えて、IoT機器が普及し、インターネットは日常生活に欠かせないものとなっています。

その一方で、インターネットを利用したサイバー犯罪は年々増加し、その手口は悪質・巧妙化しています。

県警察では、県民の皆様が安全で安心してインターネットを利用できるよう、サイバー犯罪の取締りを強化するとともに、サイバー犯罪防止のための広報啓発活動を積極的に行っています。

また、県内の産業、学術機関、警察等公官庁の産学官の連携による「山梨県サイバーセキュリティ促進ネットワーク」を通じた、先制的なサイバーセキュリティ対策に取り組むとともに、県警察全体のサイバー犯罪に対する対処能力を高めるための取組として「サイバーセキュリティコンテスト」を開催するなど、高度なサイバー犯罪に対応できる人材育成を推進しています。

山梨県サイバーセキュリティ促進ネットワーク

第2回サイバーセキュリティコンテストの状況

山梨県警察ホームページもご確認ください!!
https://www.pref.yamanashi.jp/police/kurashi/cyber/index.html
または、『山梨県警察　サイバー』で検索!!

地域に溶け込み、住民の安全・安心を守る地域警察

県警察では、交番・駐在所を拠点とした活動、パトカーによる警ら活動、山岳遭難・水難事故における救助活動、列車・鉄道施設内の警戒活動等、地域の安全を守り、事件・事故に迅速かつ的確に対応する活動を行っています。

パトカーによる警ら活動

交番駐在所活動

山岳遭難救助活動

少年サポートセンター

県警察では、少年やその保護者の悩みごとや困りごとなどについて、気軽に相談できる相談窓口を開設しています。相談は面接、電話、メールのいずれの方法でも受け付けています。

また、問題を抱えた個々の少年に対し積極的に手を差し伸べ、地域社会との絆（きずな）の強化を図る中でその立ち直りを支援し、少年を厳しくも温かい目で見守る社会気運を醸成するなど、「非行少年を生まない社会づくり」を推進しています。

◉少年相談電話（ヤングテレホン）
0120−31−7867（フリーダイヤル）
月〜金　8:30〜17:00
（但し、土日祝日、年末年始を除く）

◉少年相談メール
県警ホームページ内の「少年サポートセンター」ページからアクセスできます。
※携帯電話からは、県警ホームページの「山梨県警察本部公式携帯サイト」の「ヤングテレホン」ページからアクセスできます。

通信指令課

県警察では、緊急な事件・事故などの110番通報に、24時間体制で対応しています。

110番通報を受理した通信指令課では、直ちに通報内容を管轄する警察署やパトカーなどに伝え、現場に急行させますので、

1（いちはやく）、1（いそがず・あわてず）、0（れいせいに）

を合い言葉に、落ち着いて話してください。

また、電話詐欺に関わる不審な電話「アポ電」があったときは、周辺地域にも同様の電話が架かっていることが多いため、被害がなくても積極的に110番通報をしてください。

なお、110番通報は、緊急通報です。落とし物や運転免許の更新手続きなどにつきましては、最寄りの警察署、交番・駐在所にお問い合わせください。

各種相談ごとは、「＃9110」のご利用をお願いします。

●警察総合相談室　#9110（#が使用できない場合は055-233-9110）
●警察庁の110番アプリシステム（専用のアプリ登録が必要です）

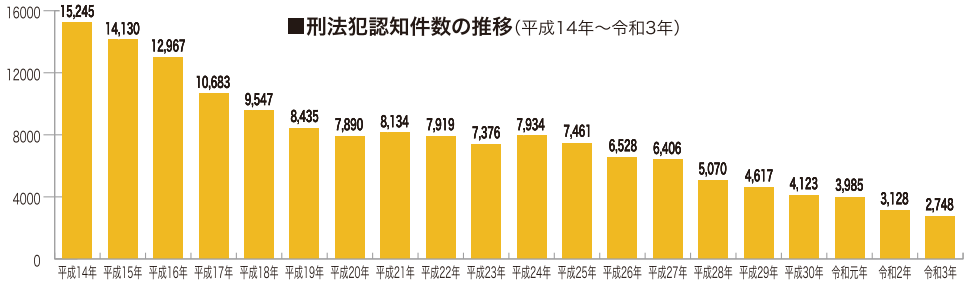
※施設見学も受け付けておりますので、希望者は警察本部総務課にお問い合わせください。

刑　事　部

安全・安心なやまなしをめざして

刑法犯認知件数は、戦後最多を記録した平成14年（15,245件）をピークに以降減少し、令和3年は2,748件と、戦後最少を更新しています。県警察は、犯罪抑止総合対策及び各種捜査活動を強力に推進しており、犯罪情勢には一定の改善が見られています。

しかし、住宅対象の侵入窃盗や電話詐欺など、皆さんが身近に不安を感じる犯罪は、依然として発生しており、体感治安の向上には至っていません。今後も、県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙に努めるとともに、犯罪組織の徹底した解明、壊滅に向けた取組を推進していきます。



組織犯罪対策

指定暴力団稲川会佐野興業幹部等による覚醒剤密売事件押収品

「組織犯罪」というと、暴力団のことが思い浮かぶかもしれませんが、実際には外国人マフィア、半グレ集団、暴走族、窃盗団、特殊詐欺グループなど多種多様な組織によって、粗暴犯以外にも、薬物犯罪、詐欺などの知能犯や経済犯罪といった様々な事件を引き起こしています。

近年、これら犯罪組織の資金獲得活動は、時代の変化に対応するとともに、取締りや法規制の緩やかな分野へ広がるなど、悪質・巧妙・多様化していることから、組織犯罪捜査はますます複雑・困難となっています。

県警察では、犯罪組織の弱体化・壊滅を図るため、警察の総力を上げて、首魁等組織の中枢を担う幹部の検挙、構成員の反復継続検挙により、社会生活から長期隔離を図るなど、人的基盤弱体化のための取締りを推進するとともに、薬物事犯の検挙や犯罪収益の没収・追徴により資金源根絶を図り、更に違法な力の象徴である銃器の取締りを徹底しています。

また、取締りとともに、県民の皆様、県、市町村、事業者、（公財）山梨県暴力追放運動推進センター、県弁護士会等の関係機関・団体と協力し、総合的な暴力団排除活動に取り組むほか、犯罪組織が悪用する制度について情報共有を図ることなどにより、社会を上げた組織犯罪対策の推進に努めていきます。

暴力団の行為は、犯罪として処罰されるものだけでなく、暴力団対策法等によって規制することができる場合があります。悩まず、どんな小さなことでもまずは最寄りの警察署、交番、駐在所まで相談してください。

事件解決のための鑑識活動

犯罪現場は「証拠の宝庫」であり、犯人検挙・事件解決の手がかりとなる資料が残されています。

警察では、綿密な現場鑑識活動によって指紋や足跡等の資料を採取し、犯人検挙・事件解決のための重要な証拠として活用しています。

また、鋭敏な嗅覚を有する警察犬は、逃走した犯人の追及、遺留品の検索、行方不明者の捜索等で活躍しています。

犯罪現場における鑑識活動

警察犬の臭気選別訓練

泥棒等の犯罪被害に遭ったときや犯罪の現場を発見したときは、犯罪現場はそのままにして、110番通報又は最寄りの警察署、交番・駐在所まで届けてください。

科学捜査研究所

犯罪現場から採取した様々な鑑定資料は、科学捜査研究所で鑑定し、犯人検挙、事件解決の重要な証拠になります。

県警察では、法医、化学、機械、電気、心理学等の専門知識や分析技術を有する職員が、ＤＮＡ型鑑定、薬物・毒物の分析、火災や交通事故の原因究明、筆跡鑑定、ポリグラフ検査、犯罪者プロファイリング等の科学捜査を担当しています。

銃器鑑定

ポリグラフ検査

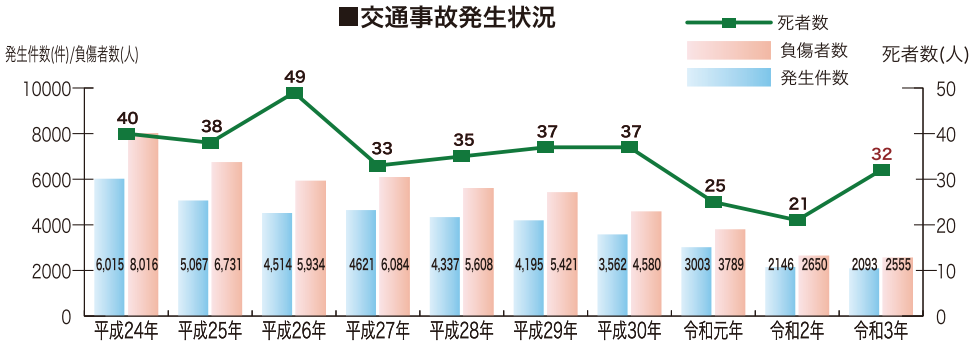
交　通　部

交通死亡事故抑止総合対策の推進

令和３年中の県内における交通事故発生状況は、発生件数と負傷者数は前年に比べ減少したものの、死者数は増加しました。

交通死亡事故では、高齢者が犠牲となる事故の割合が高く、また、飲酒運転による事故も後を絶たないなど、依然として厳しい状況となっています。

県警察では、このような状況を踏まえ、自治体、交通関係機関・団体等と連携した広報活動、タイムリーな情報発信及び交通安全教育に取り組むとともに、良好な自転車交通秩序の確立のための総合対策、交通事故実態を踏まえた交通指導取締り及び合理的な交通規制に改善するなどの諸対策を推進し、高齢者事故防止対策をはじめ、悲惨な交通事故防止を図っていきます。



交通安全教育

交通安全教育車「さちかぜ号」による活動をはじめ、学校・関係機関における交通安全教室の開催等、園児・児童から高齢者まで、年齢層に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しています。

交通安全教室

総合交通センターの学習ルーム・体験コース

学習ルーム・体験コースは、県内における交通安全教育の総合拠点として、幼児から高齢者まで年齢層に応じた参加・体験・実践型の交通安全を学ぶことができる施設です。

学習ルームでは、歩行者シミュレーションや四輪車シミュレーションなど、交通安全体験機器等による学習が行えます。また、体験コースでは「正しい道路の歩き方教室」、「正しい自転車の乗り方教室」及び「高齢者体験型交通教室」等を行っています。

自転車教室

学習ルーム

自動車シミュレータ体験

反射材展示

交通管制センター

信号機を制御するコンピュータや大型ディスプレイの交通情報表示板などの交通管制システムにより、きめ細かい交通状況の管理を行っています。

また、県内の交通状況や災害発生時の交通規制状況を道路に設置した交通情報板に表示するなど、ドライバーに道路交通情報をリアルタイムでお知らせして、安全で円滑な道路交通の確保に取り組んでいます。

施設見学も受け付けておりますので、詳しくは、警察本部総務課にお問い合わせください。

交通管制センター

警　備　部

大規模災害等緊急事態に備えて

各都道府県警察には、大規模災害等緊急事態に備えて広域緊急援助隊という災害対策の専門部隊が編制されています。

この部隊は、都道府県の枠を越えて出動し、被災者の救出救助、避難誘導、緊急交通路の確保、検視等の活動に当たります。

静岡県熱海市伊豆山地区土砂災害における活動

災害救助訓練

テロの未然防止のために

県警察では、テロを未然に防止するためには、警察による取組のみでは十分ではなく、関係機関、民間事業者、地域住民の方々と緊密に連携することが重要であることを踏まえて、関係機関等と連携し、情報の収集・分析を図り、テロ等違法行為の未然防止に努めていますが、万が一、テロ容疑事案が発生した場合に備えて、爆発物処理部隊、ＮＢＣテロ（核（Nuclear）、生物（Biological）、化学（Chemical）物質を使用したテロの総称）対応部隊等の訓練を強化し、対処能力の向上に努めています。

爆発物処理訓練

NBC対処訓練

警察学校

時代に応じた「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備える警察官の育成

警察学校では、刻々と変化する時代に的確に対応でき、警察官としての「強さ」と「しなやかさ」を備え、真に県民から求められる警察官を育成するため、厳正な規律のもと、警察実務等の基本知識や技能を習得するとともに、豊かな識見・人格を育む教養を行っています。

登山訓練

クラブ活動

警備実施訓練

「レジリエンス（困難を克服する力）」の醸成

法律や実務教養とともに、平素からの術科訓練等を通じ、基礎体力の向上による職務執行への自信と精神力の鍛錬によるレジリエンスの醸成に努めています。

柔道

剣道

逮捕術

音　楽　隊

県民との音の架け橋

山梨県警察音楽隊は創立以来、定期演奏会のほか交通安全運動や地域安全運動などの各種式典やイベント等に出演し、県民の皆様とのふれあいを深める「音の架け橋」として活動しています。

音楽隊に関するお問い合わせ
警察本部総務課 055−221−0110

令和４年山梨県警察年頭視閲式